

「堺市マスタープラン各区の協働のまちづくり3年間の振り返り」抜粋

7 区統計比較

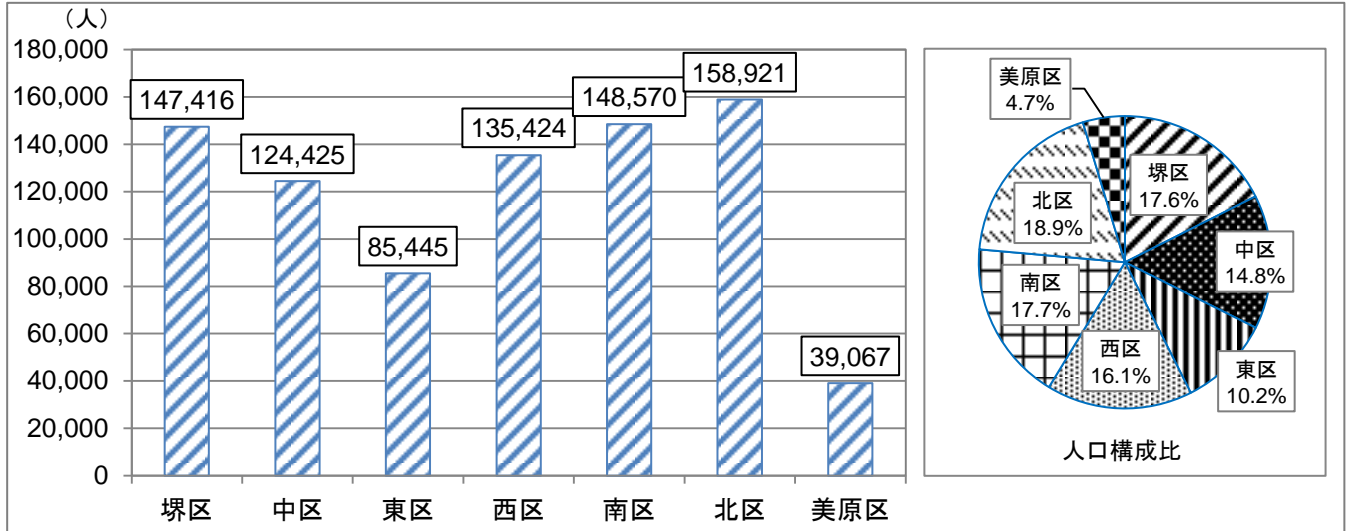
各項目の最新値を7区横並び示すことにより、それぞれの区の特徴を表します。なお、参考値として各指標に全市の値を表記するとともに、一部の指標については区の規模に影響されないよう人口や面積等の単位あたりで表します。

(参考資料) 7区統計比較

1. 各区の人口動向

(1) 推計人口 (平成27年2月1日時点)

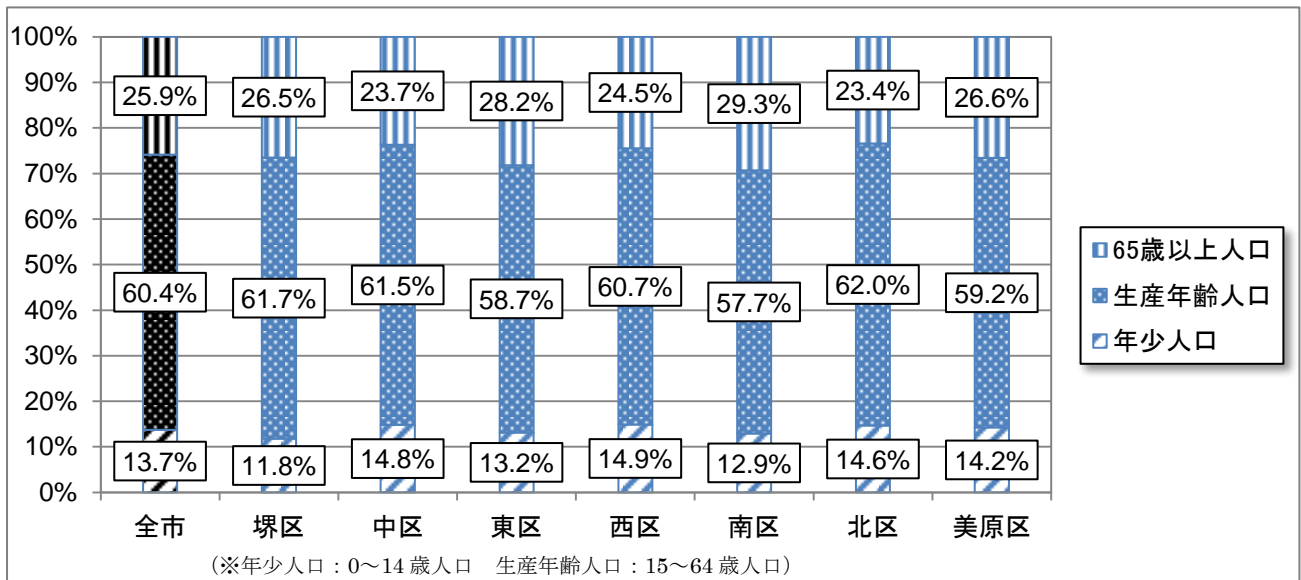
出典：堺市調べ



- ・ 区別人口は、北区が最も多く、美原区が最も少ない。

(2) 年齢3区分別人口構成比 (平成27年1月末時点)

出典：住民基本台帳

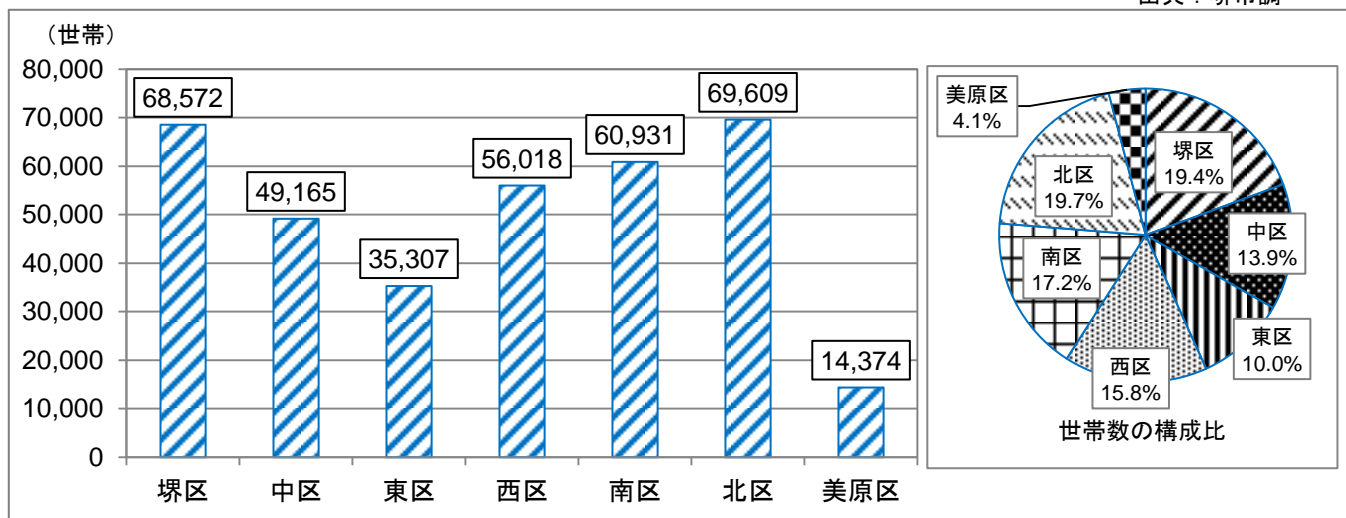


- ・ 年少人口割合は、西区が最も高く、堺区が最も低い。
- ・ 生産年齢人口割合は、北区が最も高く、南区が最も低い。
- ・ 65歳以上人口割合は、南区が最も高く、北区が最も低い。

(参考資料) 7区統計比較

(3) 世帯数 (平成27年2月1日時点)

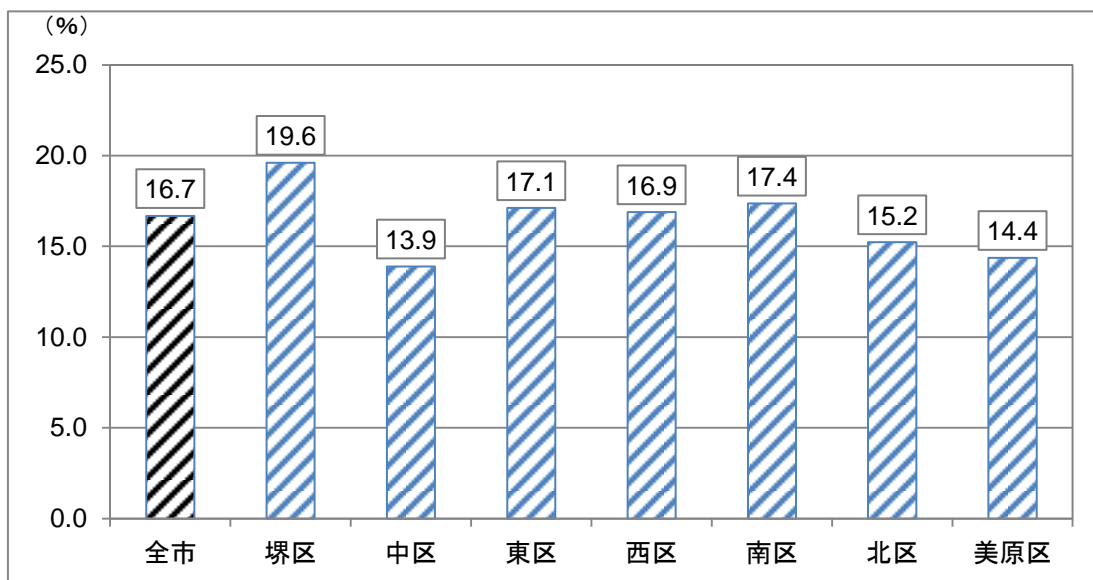
出典：堺市調べ



・世帯数は、北区が最も多く、美原区が最も少ない。

(4) 全世帯に占める65歳以上単身世帯の割合 (平成26年3月31日時点)

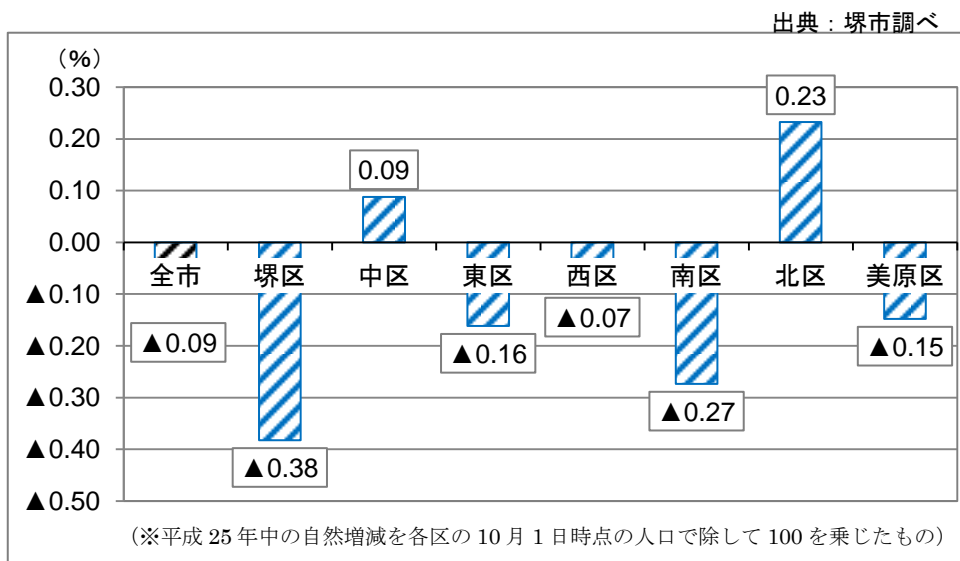
出典：堺市調べ



・全世帯に占める65歳以上単身世帯の割合は、堺区が最も多く、中区が最も少ない。

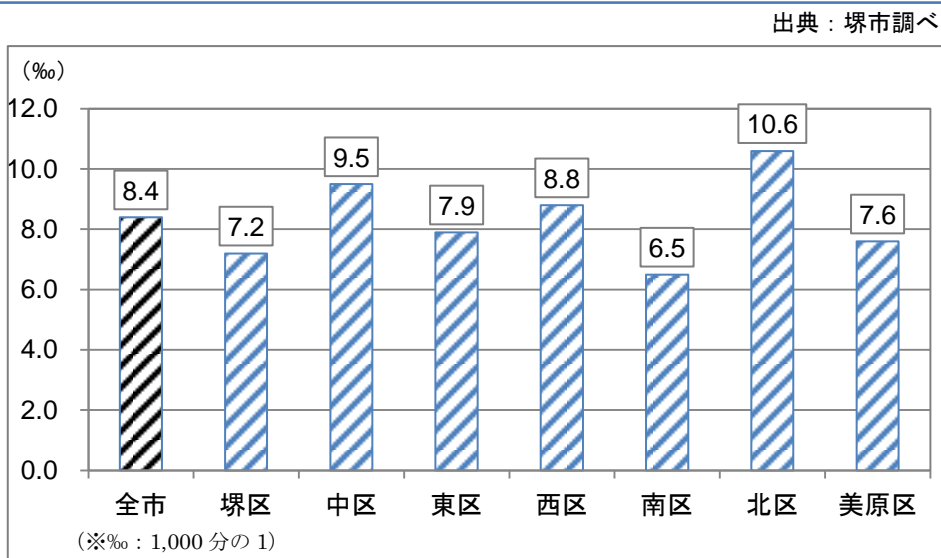
(参考資料) 7区統計比較

(5) 自然増減率 (平成25年)



・自然増減率は、北区が最も高く、堺区が最も低い。

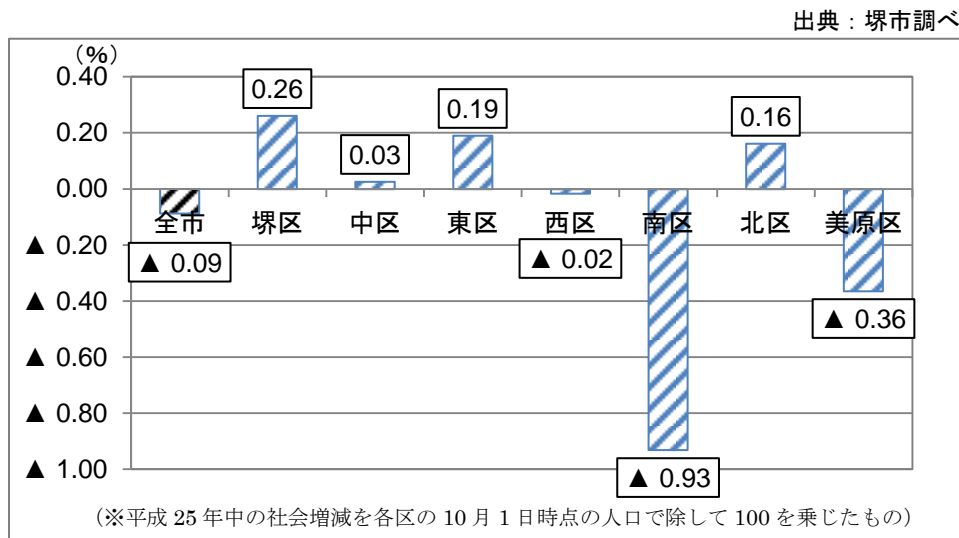
(6) 出生率 (平成25年)



・出生率は、北区が最も高く、南区が最も低い。

(参考資料) 7区統計比較

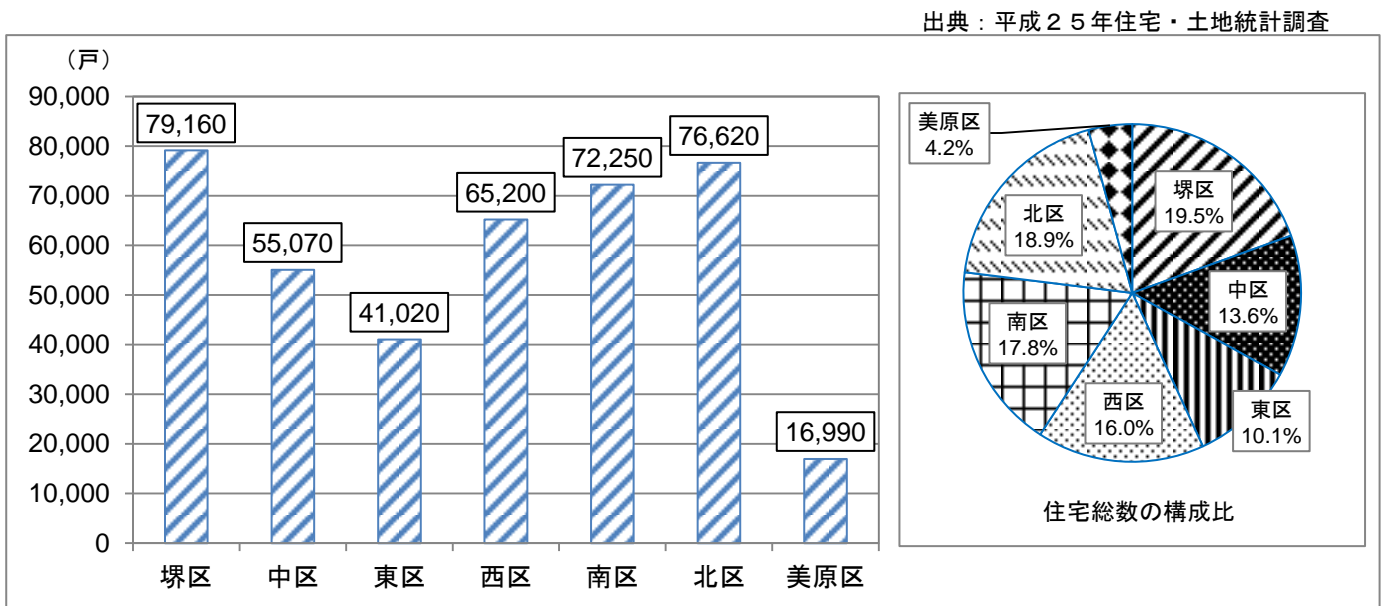
(7) 社会増減率 (平成25年)



・社会増減率は、堺区が最も高く、南区が最も低い。

2. 居住環境

(1) 住宅総数 (平成25年10月1日時点)

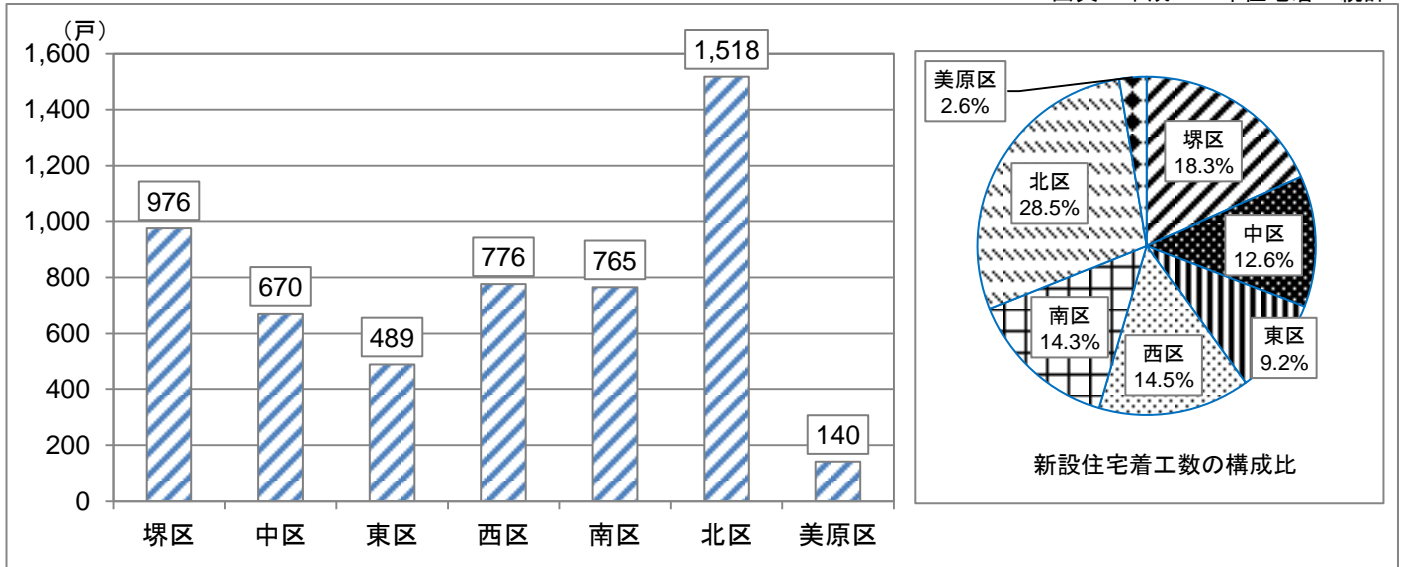


・住宅総数は、堺区が最も多く、美原区が最も少ない。

(参考資料) 7区統計比較

(2) 新設住宅着工数 (平成26年)

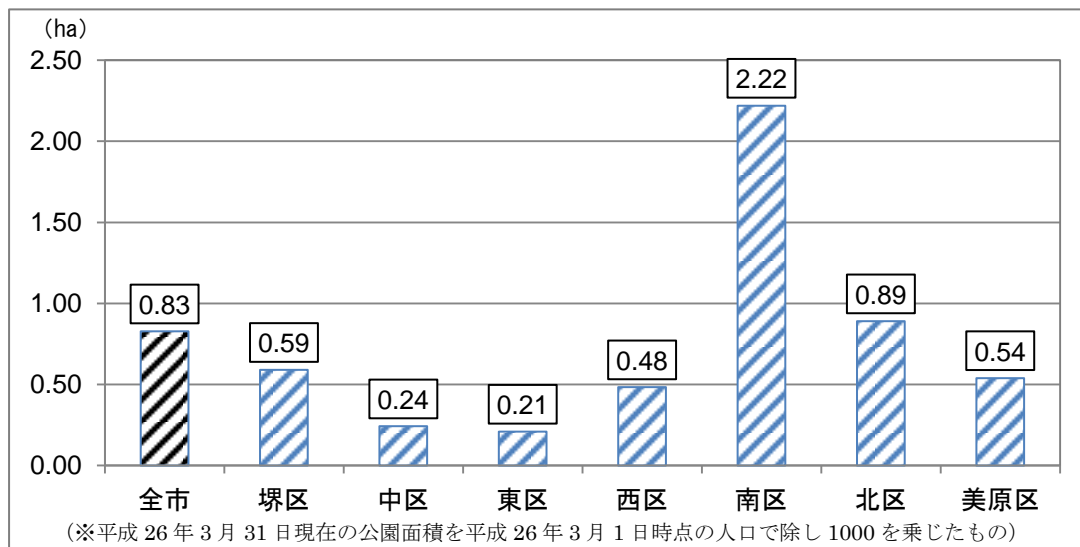
出典：平成26年住宅着工統計



・平成26年の新設住宅着工数は、北区が最も多く、美原区が最も少ない。

(3) 人口1,000人当たりの公園面積 (平成26年3月31日時点)

出典：堺市調べ

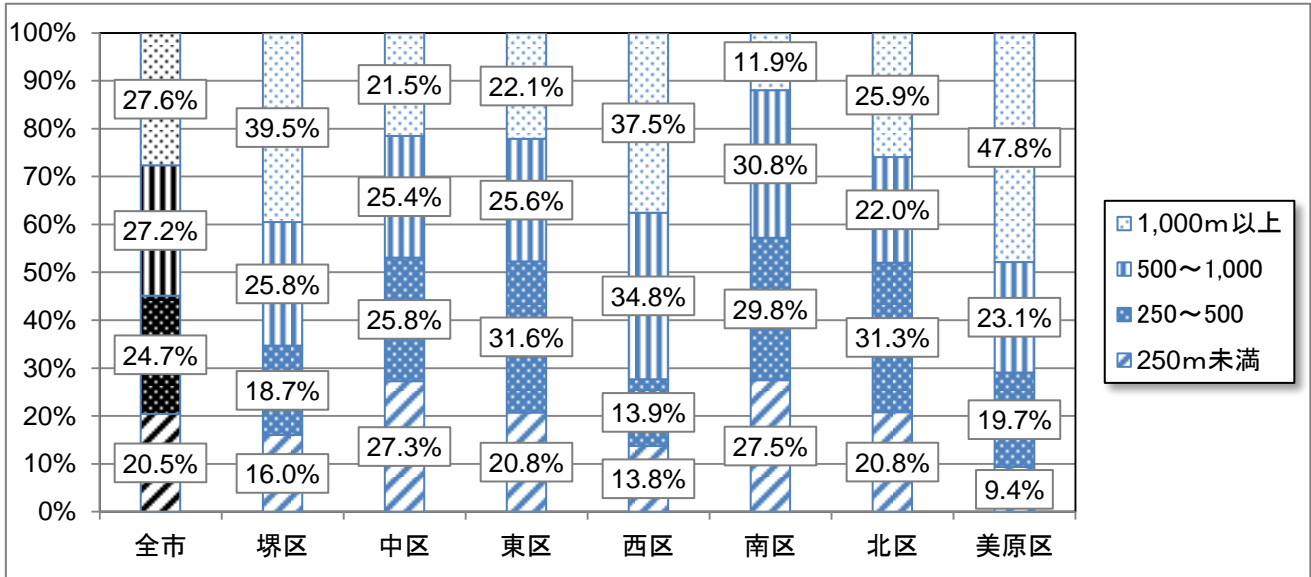


・人口1,000人当たりの公園面積は、南区が最も大きく、東区が最も小さい。

(参考資料) 7区統計比較

(4) 最寄りの公園までの距離 (平成25年10月1日時点)

出典：平成25年住宅・土地統計調査

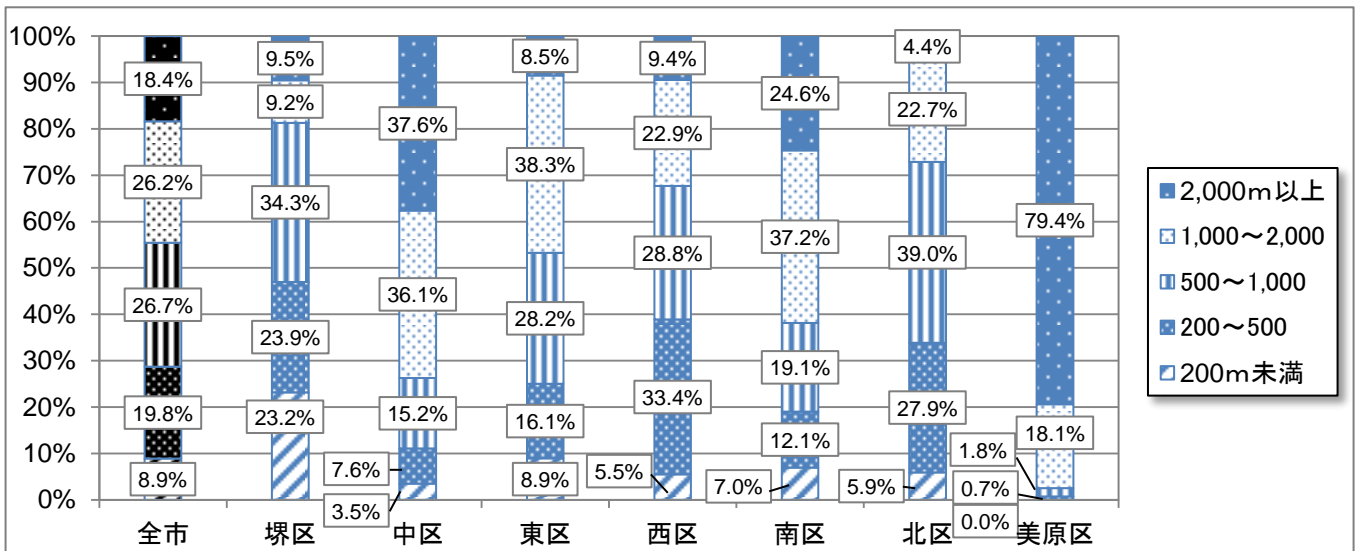


- ・最寄りの公園までの距離が250m未満の割合は、南区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・250m以上500m未満の割合は、東区が最も高く、西区が最も低い。
- ・500m以上1,000m未満の割合は、西区が最も高く、北区が最も低い。
- ・1,000m以上の割合は、美原区が最も高く、南区が最も低い。

(5) 最寄りの交通機関までの距離 (平成25年10月1日時点)

※バス停留所は含まない

出典：平成25年住宅・土地統計調査

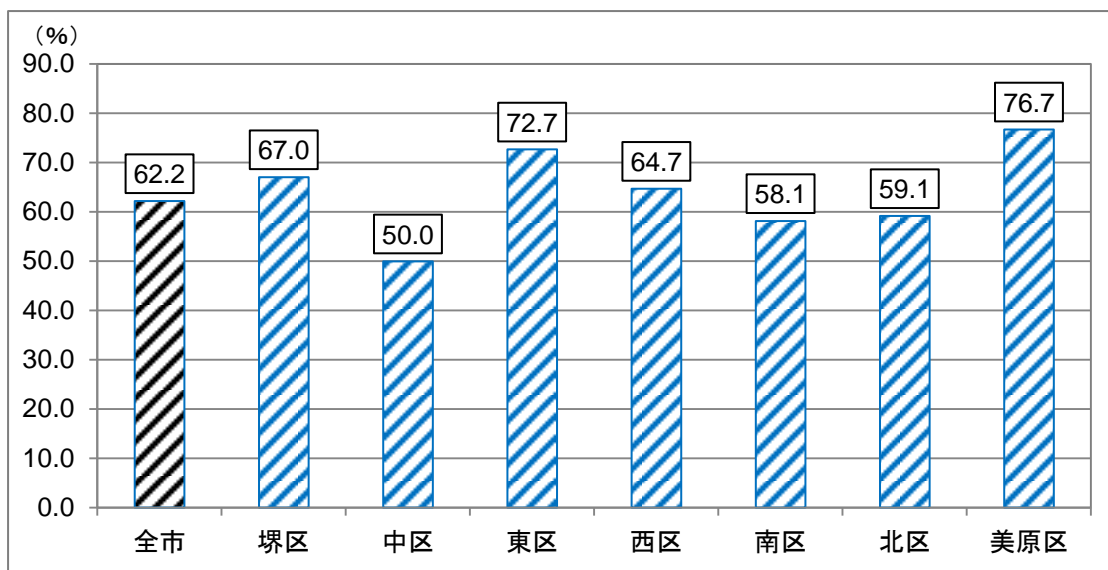


- ・最寄りの交通機関までの距離が200m未満の割合は、堺区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・200m以上500m未満の割合は、西区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・500m以上1,000m未満の割合は、北区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・1,000m以上2,000m未満の割合は、東区が最も高く、堺区が最も低い。
- ・2,000m以上の割合は、美原区が最も高く、北区が最も低い。

(参考資料) 7区統計比較

(6) 自治会加入率 (平成26年4月1日時点)

出典：堺市調べ

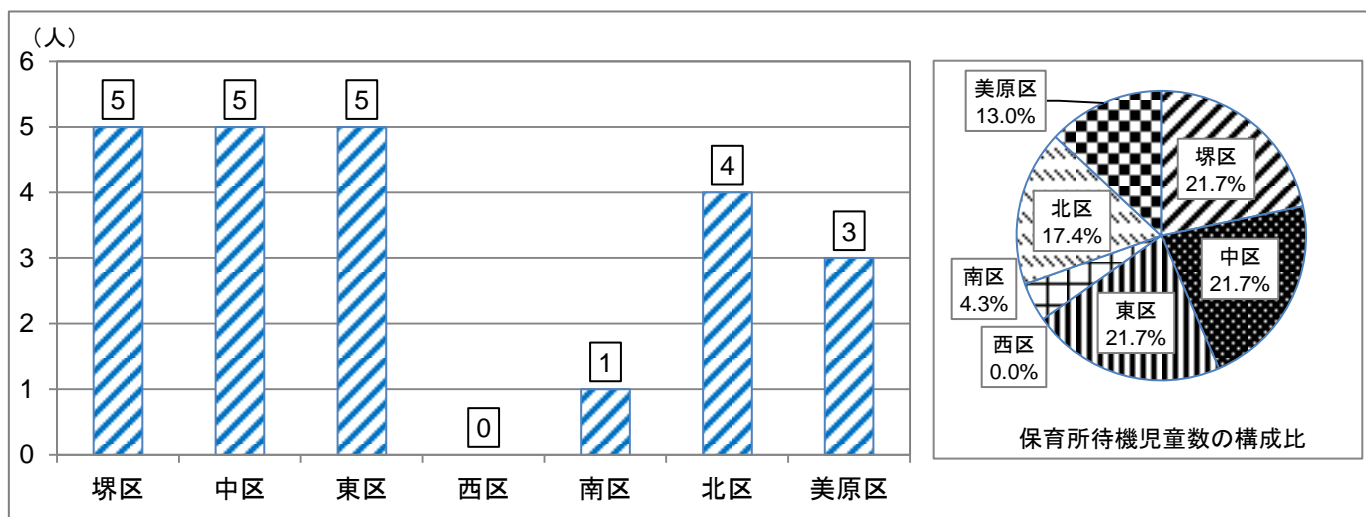


・自治会加入率は、美原区が最も高く、中区が最も低い。

■. 子育て・教育

(1) 保育所待機児童数 (平成26年4月1日時点)

出典：堺市調べ

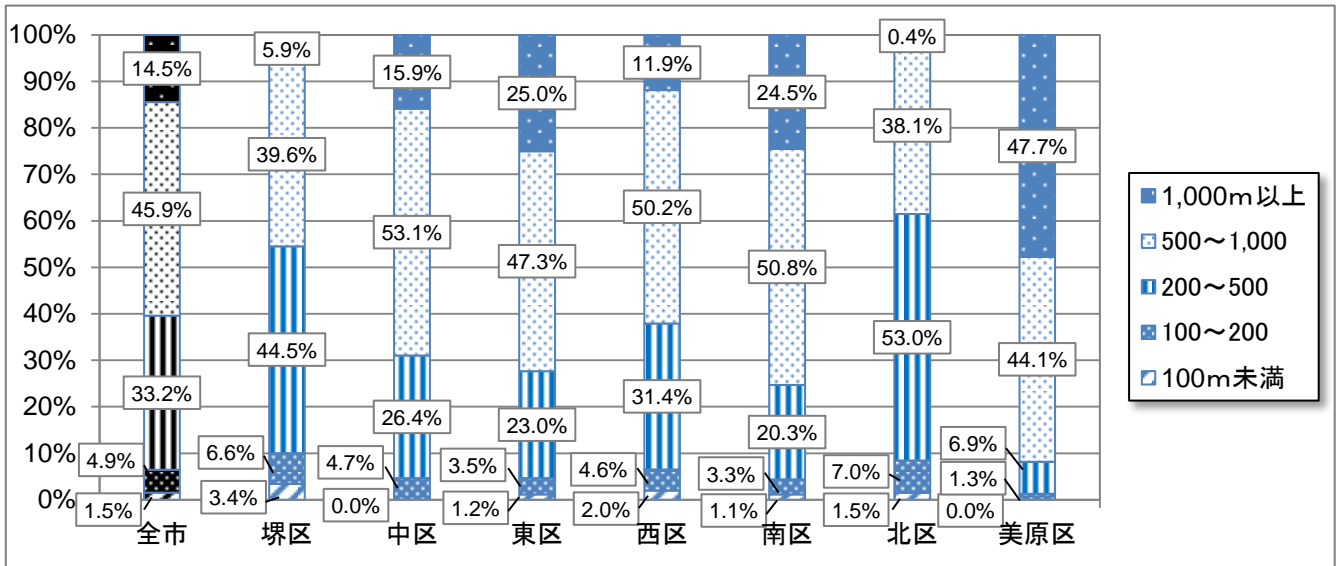


・保育所待機児童数は、堺区、中区、東区が最も多く、西区が0で最も低い。

(参考資料) 7区統計比較

(2) 最寄りの保育所までの距離 (平成25年10月1日時点)

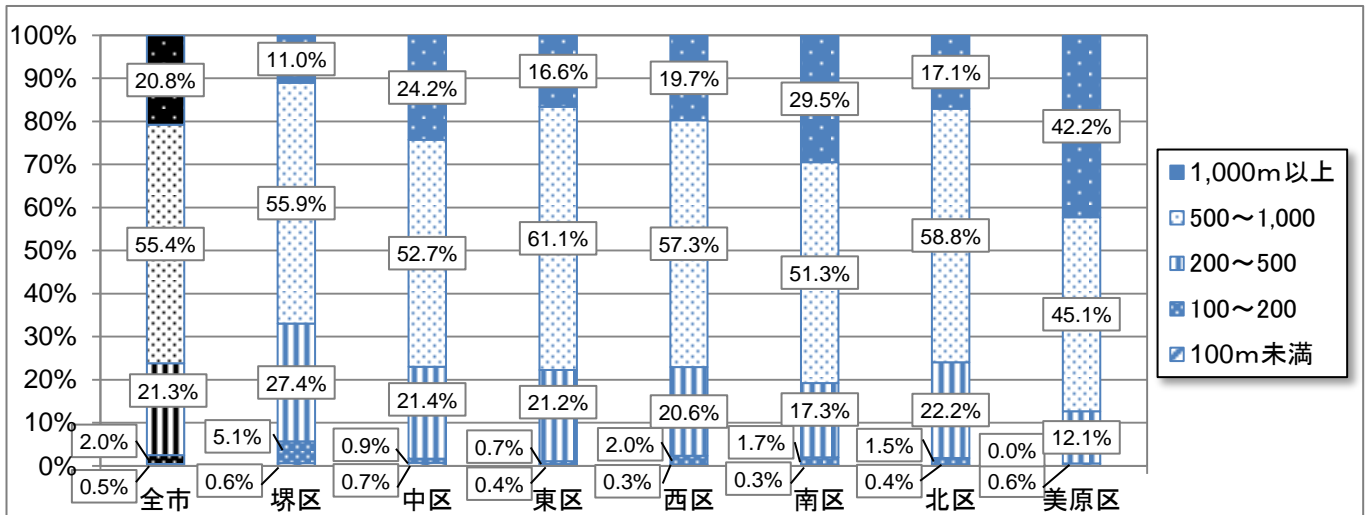
出典：平成25年住宅・土地統計調査



- ・最寄りの保育所までの距離が100m未満の割合は、堺区が最も高く、中区と美原区が最も低い。
- ・100m以上200m未満の割合は、北区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・200m以上500m未満の割合は、北区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・500m以上1,000m未満の割合は、中区が最も高く、北区が最も低い。
- ・1,000m以上の割合は、美原区が最も高く、北区が最も低い。

(3) 最寄りの小学校までの距離 (平成25年10月1日時点)

出典：平成25年住宅・土地統計調査

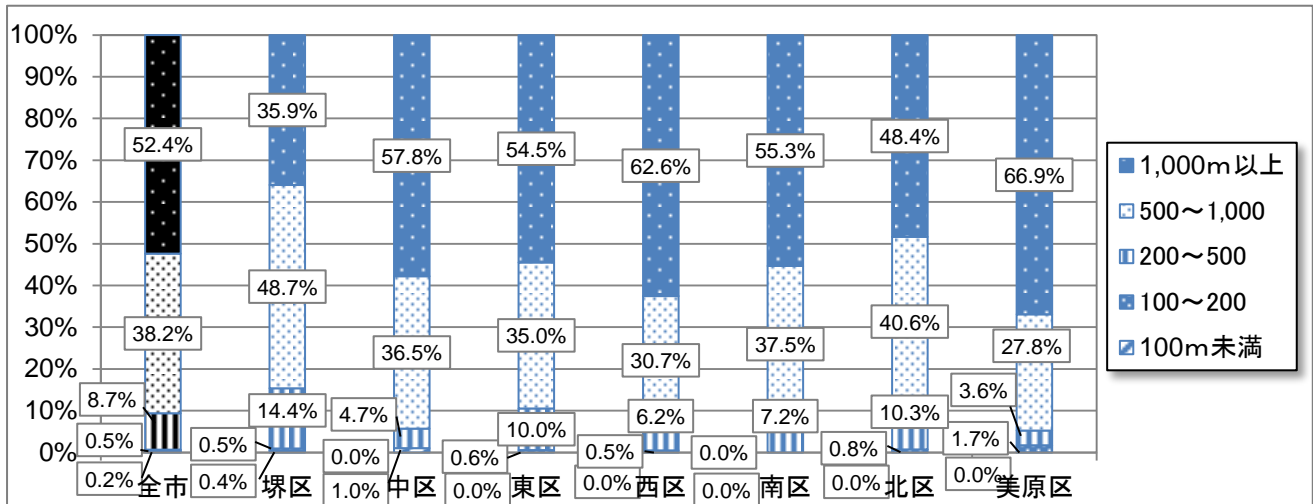


- ・最寄りの小学校までの距離が100m未満の割合は、中区が最も高く、西区と南区が最も低い。
- ・100m以上200m未満の割合は、堺区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・200m以上500m未満の割合は、堺区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・500m以上1,000m未満の割合は、東区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・1,000m以上の割合は、美原区が最も高く、堺区が最も低い。

(参考資料) 7区統計比較

(4) 最寄りの中学校までの距離 (平成25年10月1日時点)

出典：平成25年住宅・土地統計調査

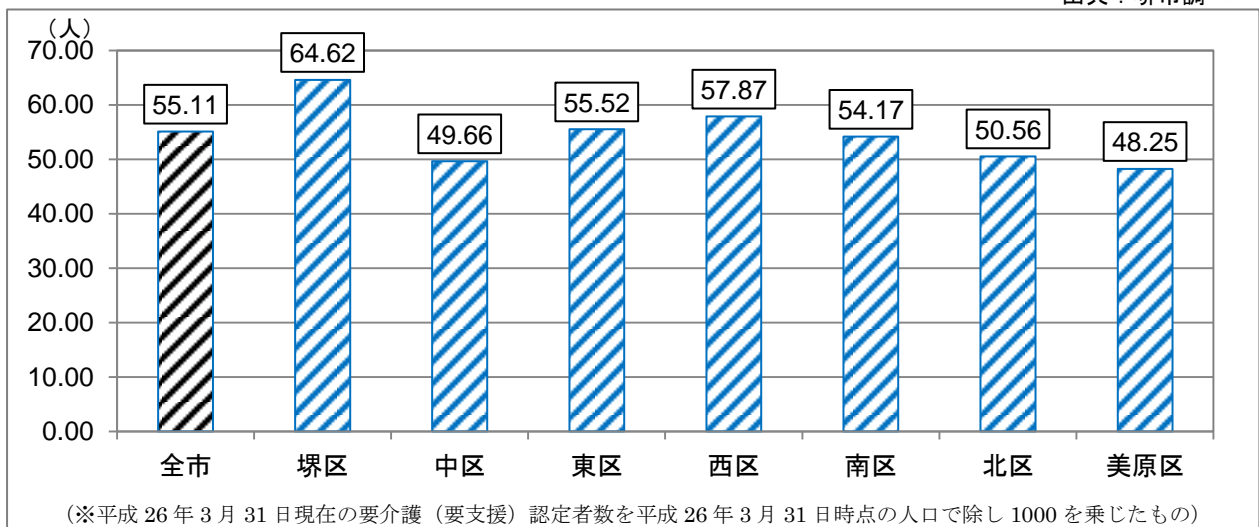


- ・最寄りの中学校までの距離が100m未満の割合は、中区が最も高く、東区と西区、北区、南区、美原区が最も低い。
- ・100m以上200m未満の割合は、美原区が最も高く、中区と南区が最も低い。
- ・200m以上500m未満の割合は、堺区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・500m以上1,000m未満の割合は、堺区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・1,000m以上の割合は、美原区が最も高く、堺区が最も低い。

■. 医療・福祉

(1) 人口1,000人当たりの要介護(要支援)認定者数 (平成26年3月31日時点)

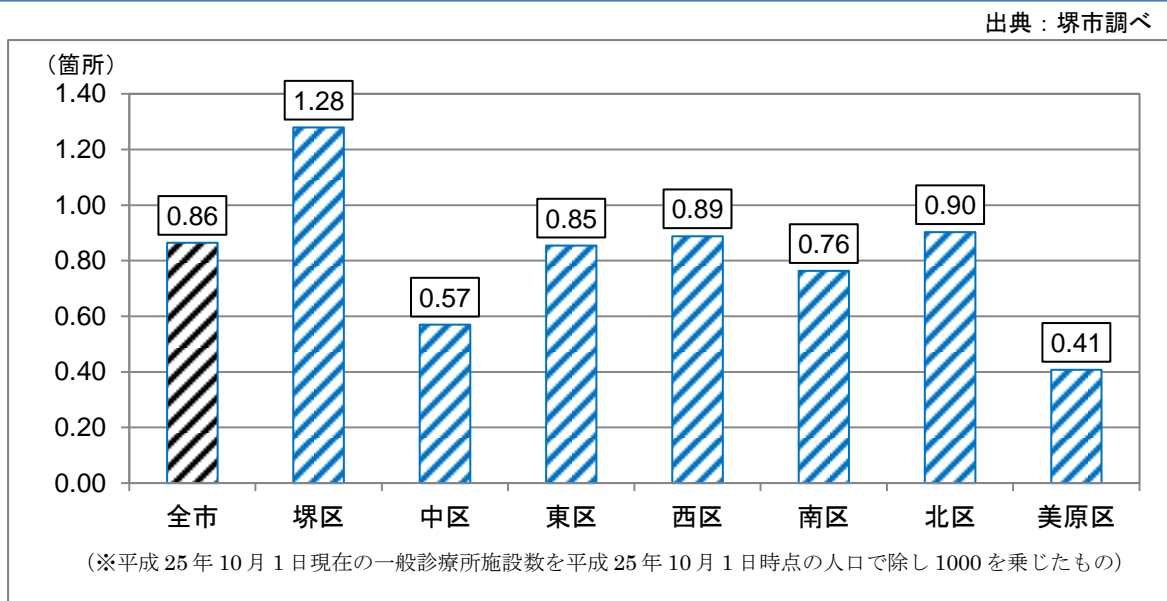
出典：堺市調べ



- ・人口1,000人当たりの要介護(要支援)認定者数は、堺区が最も多く、美原区が最も少ない。

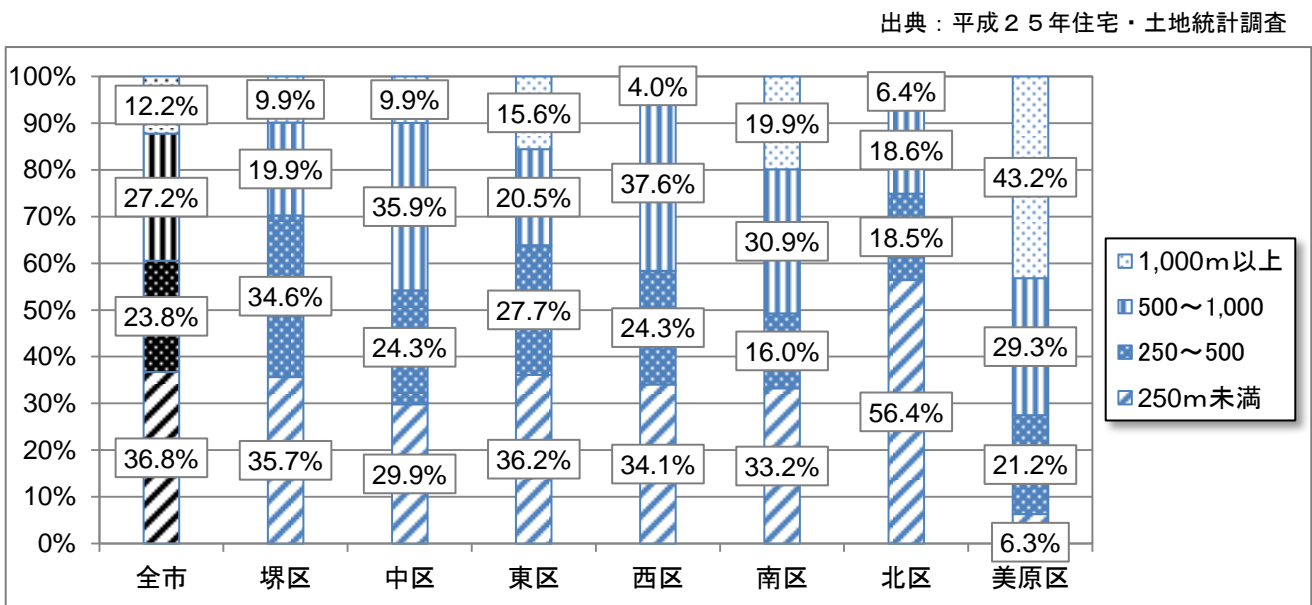
(参考資料) 7区統計比較

(2) 人口1,000人当たりの一般診療所施設数(平成25年10月1日時点)



・人口1,000人当たりの一般診療所施設数は、堺区が最も多く、美原区が最も少ない。

(3) 最寄りの医療機関までの距離(平成25年10月1日時点)

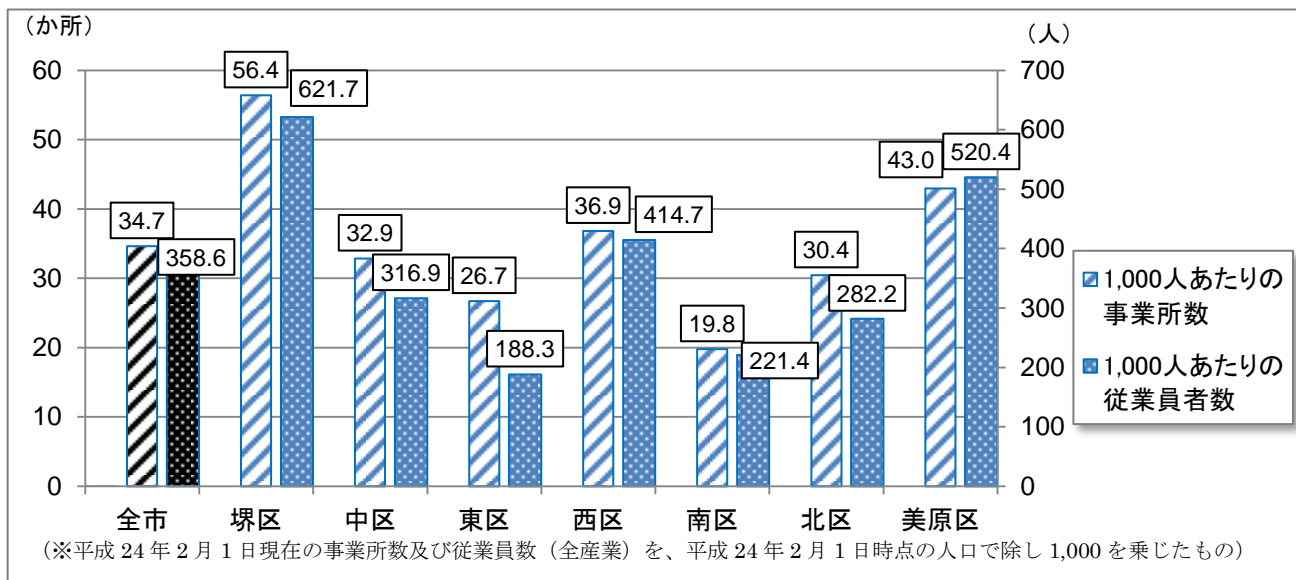


- ・最寄りの医療までの距離が250m未満の割合は、北区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・250m以上500m未満の割合は、堺区が最も高く、南区が最も低い。
- ・500m以上1,000m未満の割合は、西区が最も高く、北区が最も低い。
- ・1,000m以上の割合は、美原区が最も高く、西区が最も低い。

5. 地域産業

(1) 人口1,000人あたりの事業所数と従業員者数(全産業)(平成24年2月1日時点)

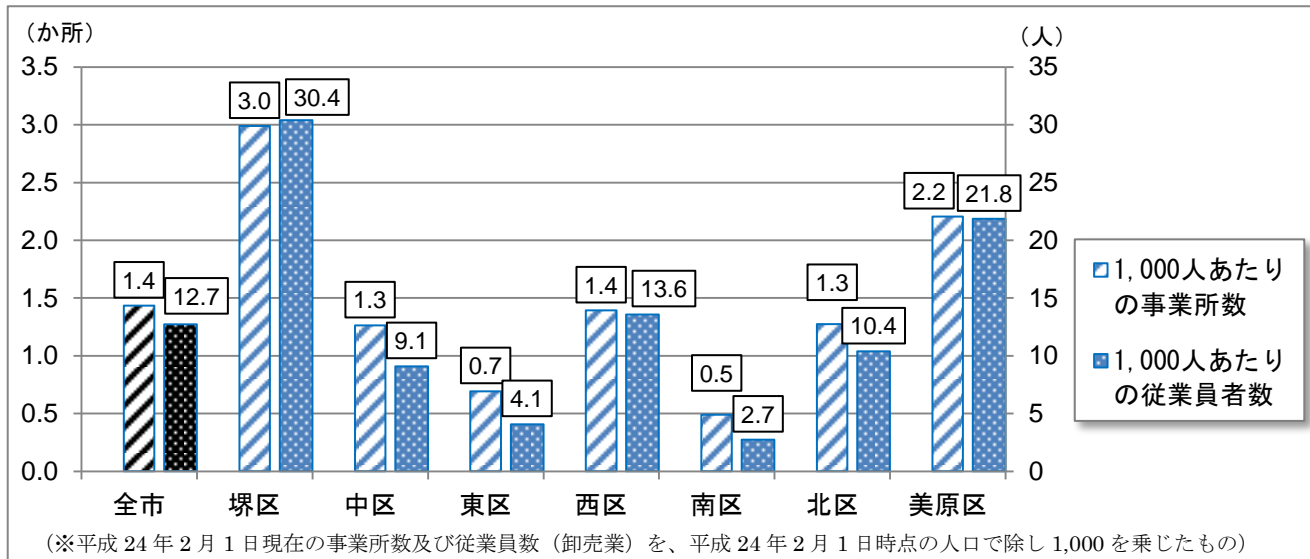
出典：平成24年経済センサス活動調査



- ・人口1,000人あたりの事業所数は、堺区が最も多く、南区が最も少ない。
- ・人口1,000人あたりの従業員者数は、堺区が最も多く、東区が最も少ない。

(2) 人口1,000人あたりの事業所数と従業員者数(卸売業)(平成24年2月1日時点)

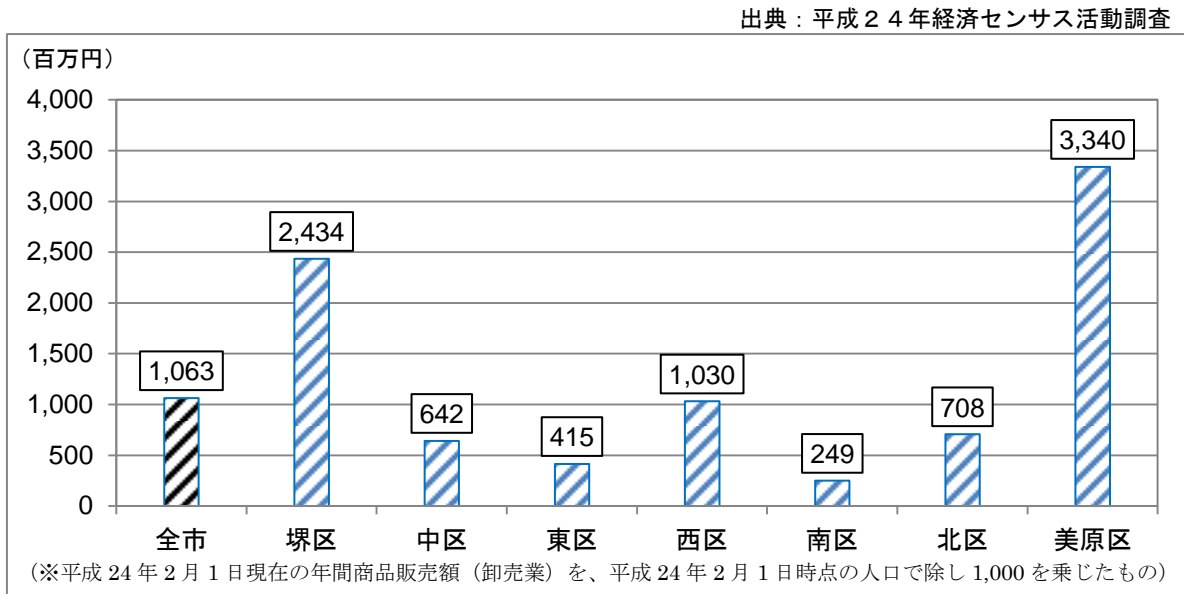
出典：平成24年経済センサス活動調査



- ・人口1,000人あたりの事業所数は、堺区が最も多く、南区が最も少ない。
- ・人口1,000人あたりの従業員者数は、堺区が最も多く、南区が最も少ない。

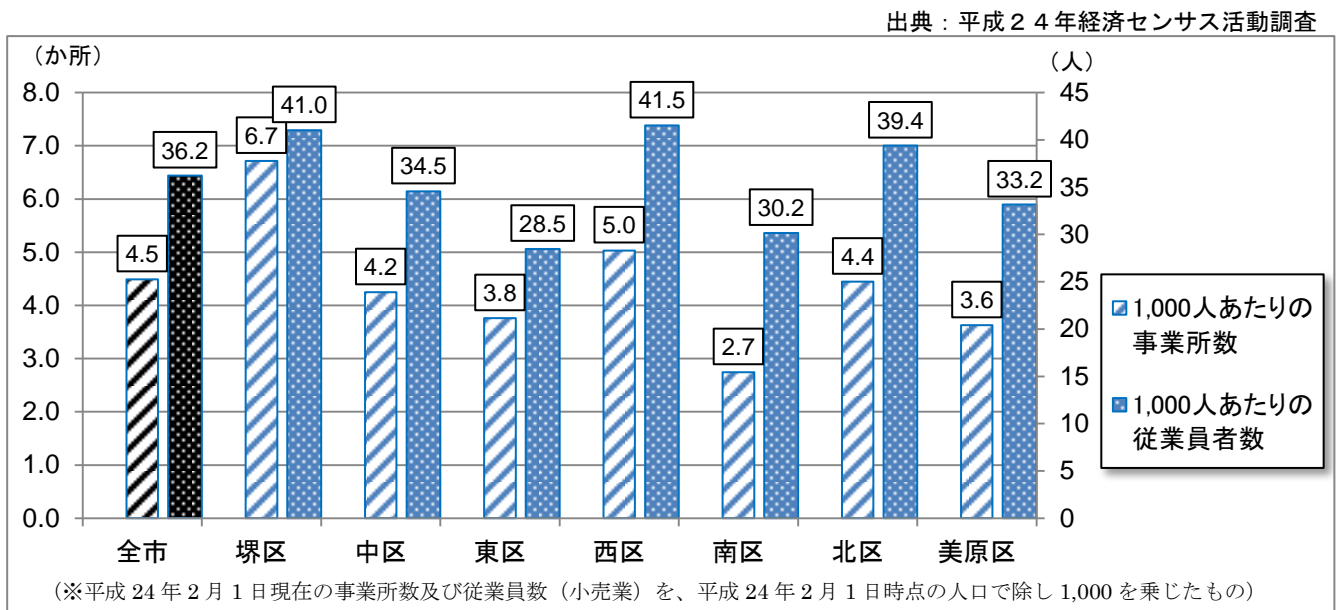
(参考資料) 7区統計比較

(3) 人口1,000人あたりの年間商品販売額(卸売業)(平成24年2月1日時点)



・人口1,000人あたりの年間商品販売額は、美原区が最も多く、南区が最も少ない。

(4) 人口1,000人あたりの事業所数と従業員者数(小売業)(平成24年2月1日時点)

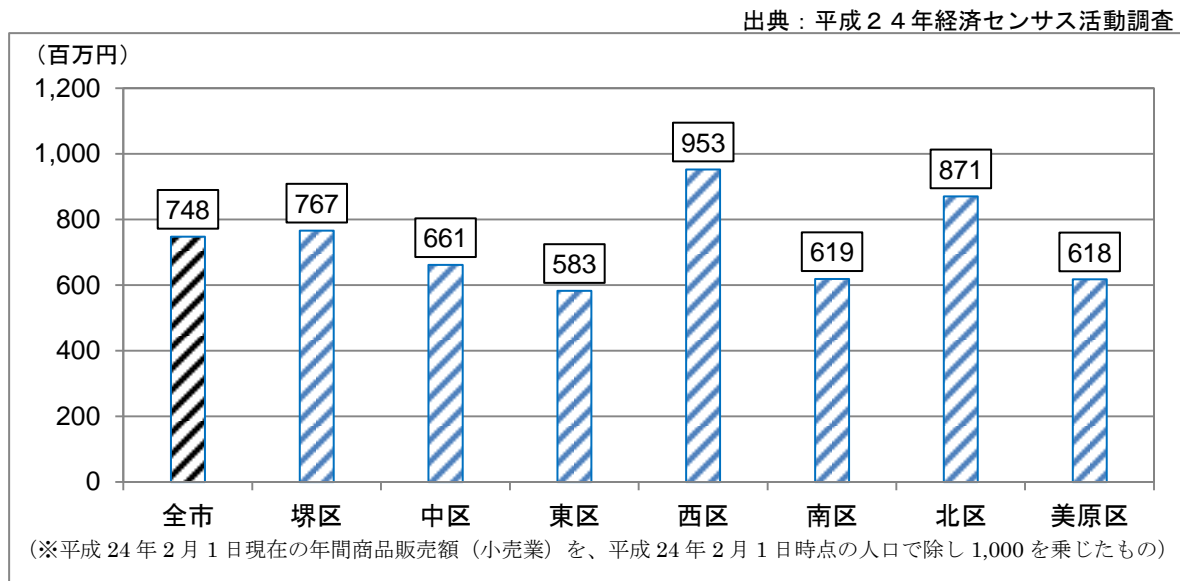


・人口1,000人あたりの事業所数は、堺区が最も多く、南区が最も少ない。

・人口1,000人あたりの従業員者数は、西区が最も多く、東区が最も少ない。

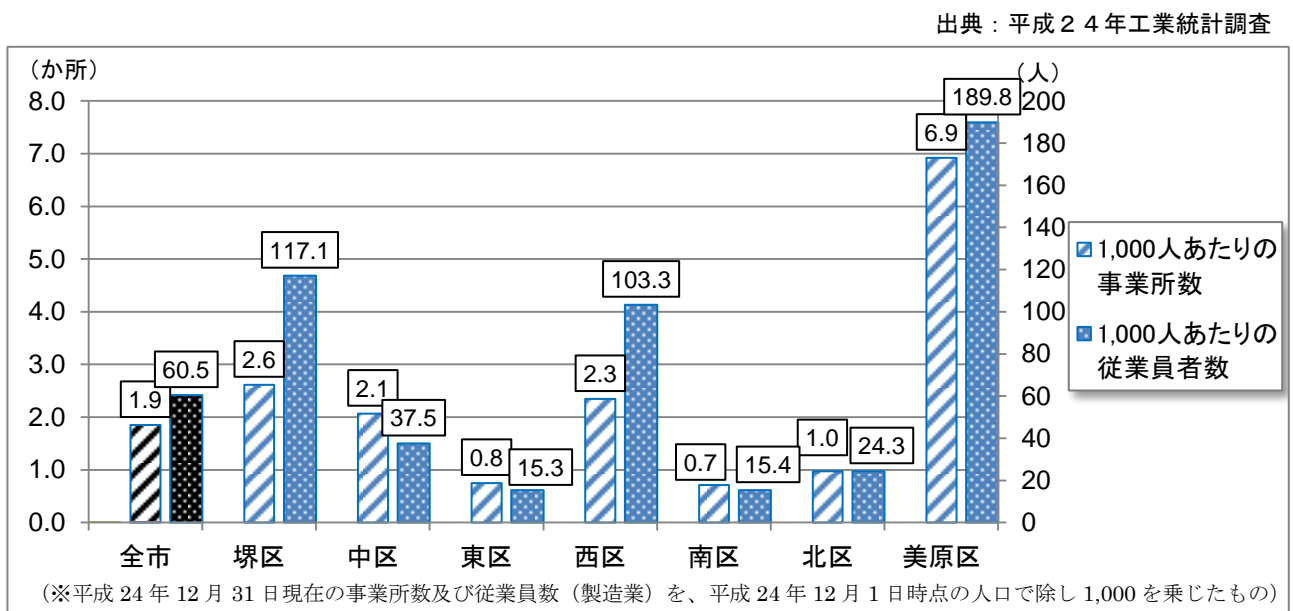
(参考資料) 7区統計比較

(5) 人口1,000人あたりの年間商品販売額(小売業)(平成24年2月1日時点)



・人口1,000人あたりの年間商品販売額は、西区が最も多く、東区が最も少ない。

(6) 人口1,000人あたりの事業所数と従業員者数(製造業)(平成24年12月31日時点)



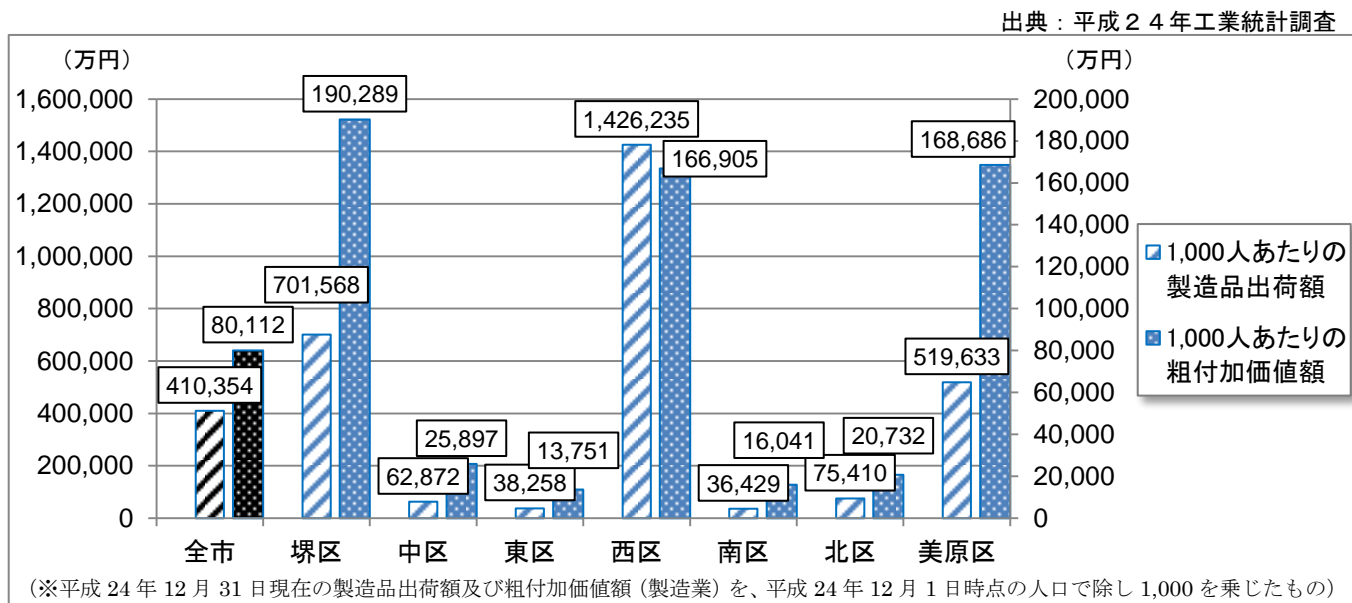
・人口1,000人あたりの事業所数は、美原区が最も多く、南区が最も少ない。

・人口1,000人あたりの従業員者数は、美原区が最も多く、東区が最も少ない。

(参考資料) 7区統計比較

(7) 人口1,000人あたりの製造品出荷額と粗付加価値額(製造業)

(平成24年12月31日時点)

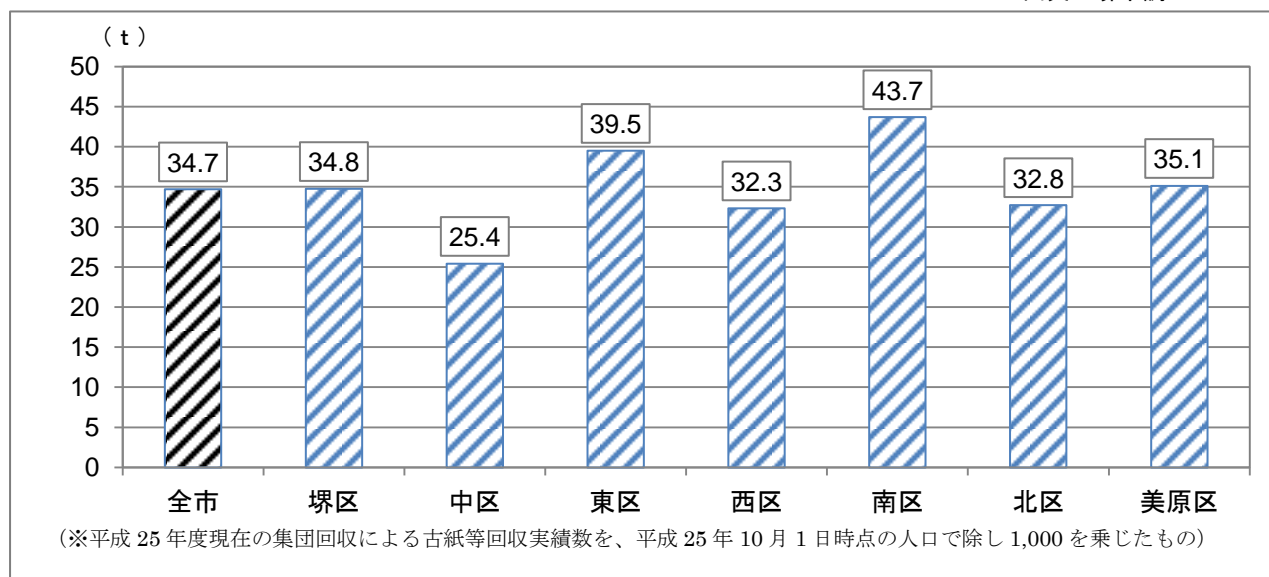


- ・人口1,000人あたりの製造品出荷額は、西区が最も多く、南区が最も少ない。
- ・人口1,000人あたりの粗付加価値額は、堺区が最も多く、東区が最も少ない。

6. 環境保全

(1) 人口1,000人あたりの集団回収による古紙等回収実績数(平成25年度)

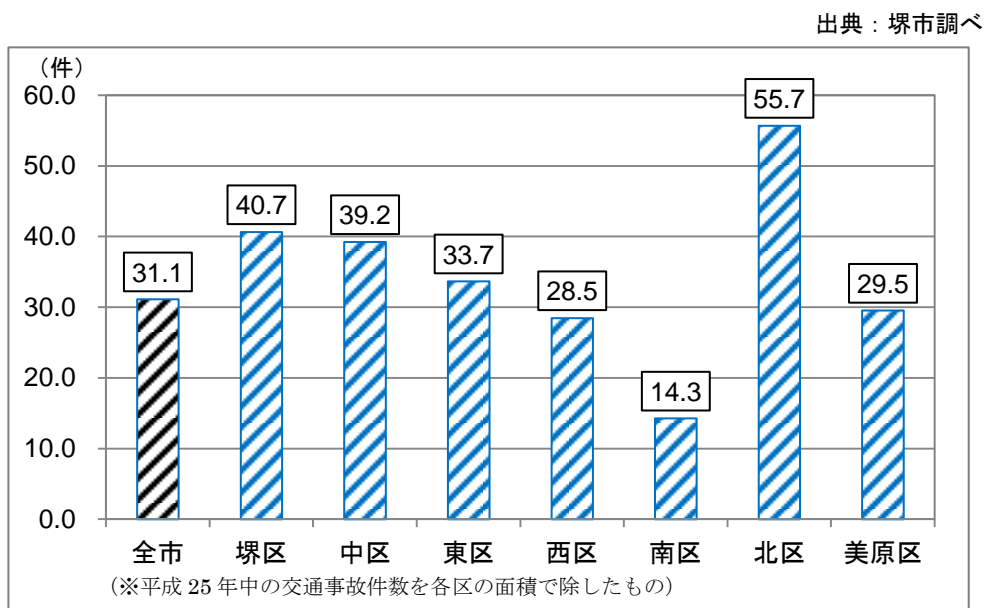
出典：堺市調べ



- ・人口1,000人あたりの集団回収による古紙等回収実績数は、南区が最も多く、中区が最も少ない。

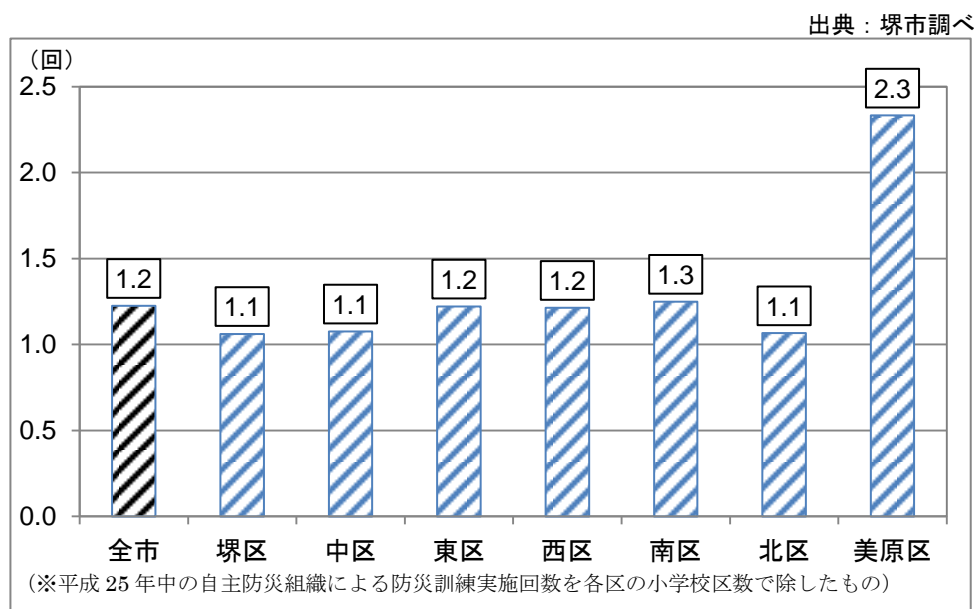
7. 安全・安心

(1) 1k㎡あたりの交通事故件数（平成25年）



・ 1k㎡あたりの交通事故件数は、北区が最も多く、南区が最も少ない。

(2) 1校区あたりの自主防災組織による防災訓練実施回数（平成25年度）

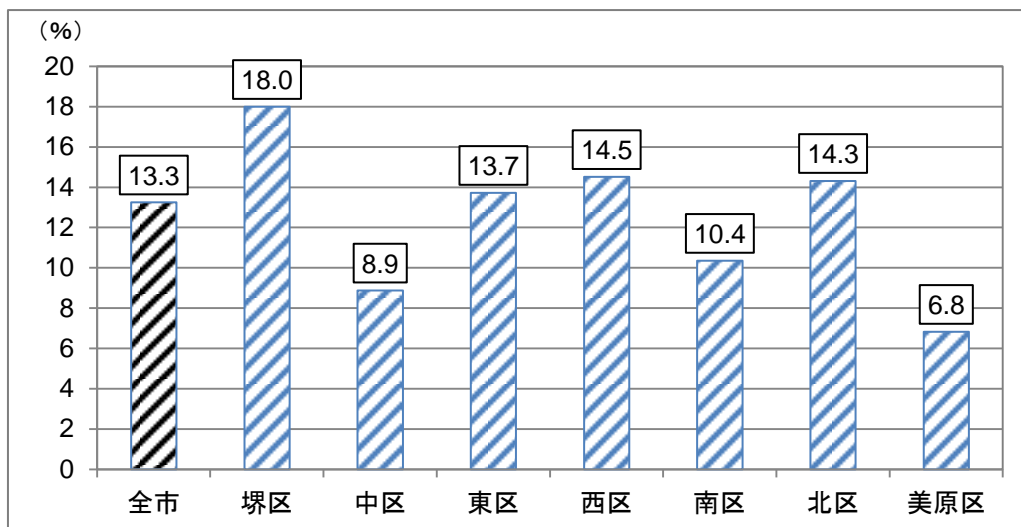


・ 1校区あたりの自主防災組織による防災訓練実施回数は美原区が最も多く、堺区、中区、北区が最も少ない。

(参考資料) 7区統計比較

(3) 住宅空き家率 (平成25年10月1日時点)

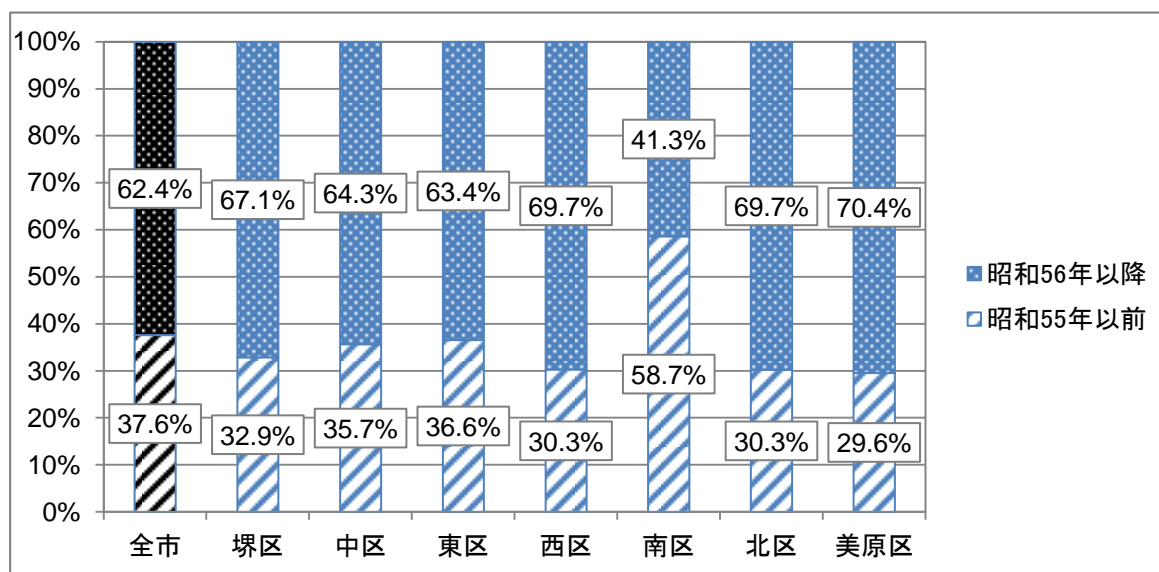
出典：平成25年住宅・土地統計調査



・住宅空き家率は堺区が最も多く、美原区が最も少ない。

(4) 住宅の建築時期別構成比 (平成25年10月1日時点)

出典：平成25年住宅・土地統計調査

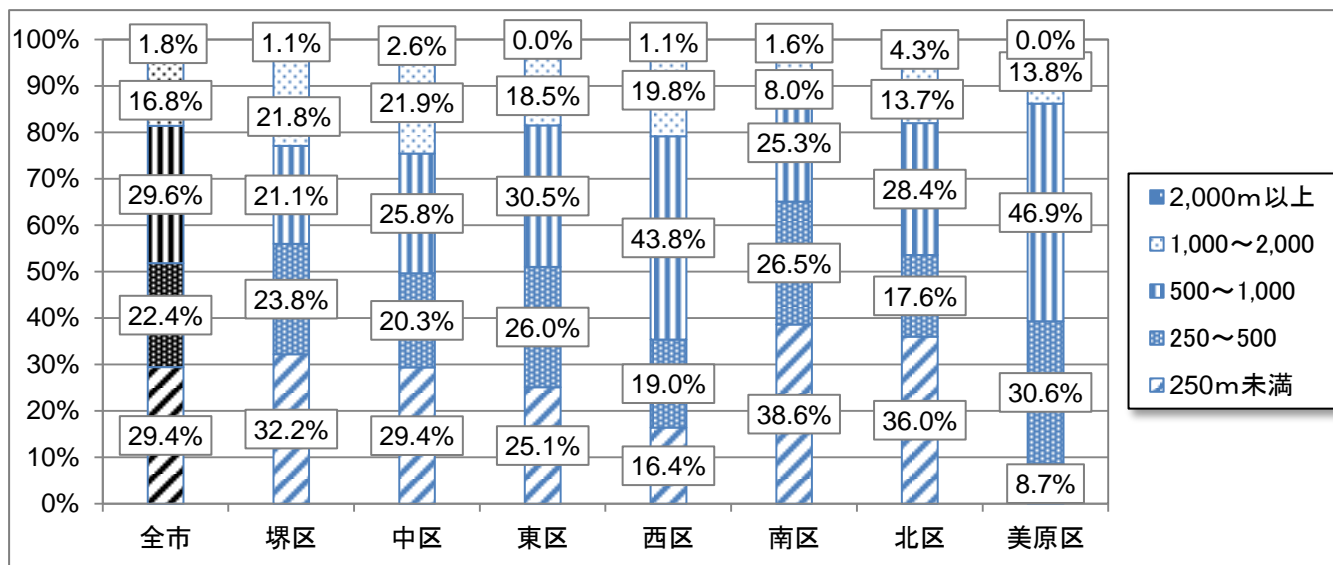


・旧耐震基準で建てられたと想定される昭和55年以前の住宅の割合は、南区が最も多く、美原区が最も少ない。

(参考資料) 7区統計比較

(5) 最寄りの緊急避難所までの距離 (平成25年10月1日時点)

出典：平成25年住宅・土地統計調査

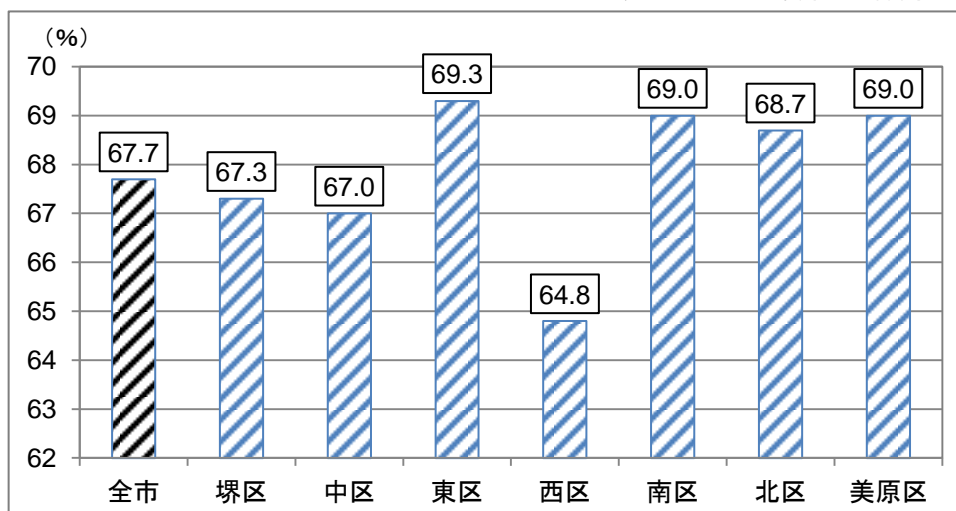


- ・最寄りの緊急避難所までの距離が250m未満の割合は、南区が最も高く、美原区が最も低い。
- ・250m以上500m未満の割合は、美原区が最も高く、北区が最も低い。
- ・500m以上1,000m未満の割合は、美原区が最も高く、堺区が最も低い。
- ・1,000m以上2,000m未満の割合は、中区が最も高く、南区が最も低い。
- ・2,000m以上の割合は、北区が最も高く、東区と美原区が最も低い。

8. 市民意識

(1) 定住意向 (平成25年度)

出典：平成25年度市民意識調査



- ・平成25年度の定住意向は東区が最も高く、西区が最も低い。



堺市市長公室企画部

電話:072-222-0380

〒590-0078

堺市堺区南瓦町3番1号

HP: <http://www.city.sakai.lg.jp/>

堺市行政資料番号 1-C1-15-0093